



令和6年度第1回五霞町災害対処訓練「避難力強化訓練」概要について

1 目 的	降雨による災害の危険性が高まる出水期を前に、利根川での洪水を想定とし、町の災害対策能力の向上、町民の避難行動を起こす意識の向上と定着化を図ることを目的として「避難力強化訓練」を実施する		
2 訓練日時	令和6年6月23日（日）9：00～11：40		
3 訓練項目	①災害対策本部会議訓練 ②住民避難訓練（各戸にて実施） ③避難所開所・運営訓練 ④要支援者避難支援訓練	4 訓練対象	①③五霞町災害対策本部要員（参加人員約30名） ②五霞町全住民 ④五霞町災害対策本部要員、五霞町社会福祉協議会、民生委員児童委員
		5 訓練参加機関	茨城県、陸上自衛隊、水戸气象台、利根川上流河川事務所
6 訓練実施要領	訓練想定	1 台風の発生により関東地方では大雨となり、茨城県内の河川水位が上昇し洪水や土砂災害の発生の危険性が高まっている。 2 23日4：00、水戸气象台から大雨警報が発表 3 五霞町は災害対策本部を設置し、利根川上流河川事務所、水戸气象台等からの情報収集及び連絡・調整等を実施し、台風の今後の予想等を予期し災害対策本部の方針決定し、町民への避難等に関する指示等を実施する想定 4 台風による降水状況及び河川の水位上昇にともなう警戒レベルの変化による災害対策本部における情報収集等及び、災害対策本部長の各関係機関との連絡・調整に基づく災害対策本部の方針決定の要領・手順の確認をする想定	
7 訓練の概要	① 災害対策本部会議訓練【9：00～9：40】 各警戒レベルの推移に応じて、住民自主避難、高齢者等避難、避難指示に関する意思決定の場面の会議を3回実施 場所： 五霞町本庁舎1階災害対策室 ② 住民避難訓練【9：30～11：40】 氾濫危険情報に基づき全町民に対して避難指示を発令（行政防災無線等）、各戸においてマイタイムラインによる持ち出し品、避難所確認、避難経路確認等の水害避難について確認・検討 場所： 町内各戸 ③ 避難所開所・運営訓練【9：00～11：00】 避難所の開設（要支援者受入れ施設を実設）及び運営（参加者によるマイナンバーカードによる受付実施） 場所： 中央公民館 ④ 要支援者避難支援訓練【10：30～11：00】 町内の要支援者（1家族2名）を自宅から中央公民館へ移動する際の要領について確認し、実動で避難を実施 場所： 中央公民館		
8 その他	1 自衛隊の装備品展示を実施 2 避難所開所・運営訓練時にマイナンバーカードを使用した入所手続き及び入所手続きデータを使用した安否確認及び電子地図への表示要領を実施 3 災害対策本部会議訓練時にドローンによるライブ映像の共有を実施		

「新たな試み」〈マイナンバーカードを用いた受付〉〈ドローンによる被害状況把握〉

過去の災害の問題点と改善策	従来の方式	五霞町の安否確認等のシステム
避難所での受付 問題点 ○避難時間が集中し混雑 ○紙用紙記入で時間大 ○避難者情報の共有困難 改善策 ○マイナカードで電子登録 ○登録情報を本部と共有	各人毎紙用紙に記入 簡素化、省人力	スマホ タブレット テザリング PC (テレワーク用) QRコード 1 2 析情報
安否確認 問題点 ○安否確認情報の集約困難 ○各戸の確認は職員総出実施 ○住基情報を紙地図で確認 改善策 ○受付情報で安否確認実施 ○安否確認情報を電子地図表示	一軒ずつ現地で安否確認 住基資料 地図 PC (L G W A N) 迅速・確実性向上、省人力	住基ネット基礎情報 + マイナンバー基礎情報 安否確認突合作業 電子地図で安否確認状況を表示
搜索活動等 問題点 ○被害甚大地域情報入手困難 ○地域割りをして人海戦術 ○情報の共有困難 改善策 ○電子地図情報により地域特定 ○ドローンにより映像情報共有	不確実情報による人力搜索 搜索A職員 搜索境界 搜索B職員 映像ライブ配信 ドローン活用 確実性向上、情報共有、省人力	色分けで安否状況を表示 未確認集中地域へ情報収集

マイナンバーカードの利点

ドローンの利点